

完了報告書（平成 23 年度）

提出者 南 誠

提出年月日 2012 年 3 月 31 日

【プロジェクト名】

和文 「中国帰国者」の境界文化における親密圏と公共圏の変容と再編成

英文 Transformation and Reconstruction of The Intimate and Public Spheres in Border Culture of “Chugoku Kikokusya”

【メンバー構成】

研究代表者 南 誠

【ねらいと目的】 (600 字程度)

本研究の目的は、社会運動と地域社会という「現れの空間」に焦点を定めて調査し、中国帰国者の生活世界と親密圏の変容や、「ひとつの家族と二つの祖国」という生活圏の実現をめぐる親密圏と公共圏の再編成を明らかにすることである。調査方法は主に聞き取り調査を用いるが、必要に応じてアンケート調査も行う。

現在、約 10 万人以上の中国帰国者が日本で生活していると推測されている。彼(女)らが日本に永住・定住するようになった 1970 年代から、既に 40 年の歳月が経った。この間、社会運動(特に 2001 年に始まった中国残留日本人の国家賠償訴訟運動)の展開をとおして、中国帰国者問題がその度注目を集めた。しかしその視点の多くが、当事者が置かれた周縁的位置性や、そのアイデンティティと所属意識に集中し、社会運動と地域社会に照準を合わせた論点がまだ少ない。実際中国帰国者の生活世界がさまざまな境界を跨がって構築されているが、それを支えているのは日本の地域社会での生活実践に他ならない。このように、中国帰国者を理解するには、地域社会での生活実践や、それに関連する社会運動の研究調査が必要不可欠である。

この研究内容は申請者が博士論文ですでに論及しており、本研究をとおしてその考察をさらに深めていきたい。また本研究分析をとおして、親密圏と公共圏に関する理論的検討や、日本社会におけるエスニックマイノリティの生き方と多文化共生社会に関する新しい知見の獲得をめざす。

【活動の記録】

研究会・ワークショップの場合は、開催年月日、報告者と報告題等

調査の場合は、調査年月日、調査者、調査地、調査目的等

その他の活動も含めて、研究期間中の活動について簡潔に記してください。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 2011 年 6 月 17 日～19 日 | 岡山在住の中国帰国者に関する調査 |
| 6 月 22 日～25 日 | 福井在住の中国帰国者に関する調査 |
| 7 月 9 日～12 日 | 京都在住の中国帰国者に関する調査 |

11月4日～7日 広島在住の中国帰国者に関する調査
 11月19日～26日 京都・福井在住の中国帰国者に関する調査
 2012年2月16日～21日 京都・仙台在住の中国帰国者に関する調査
 GCOE 研究成果報告会参加

【成果の概要】 (800字程度)

本年度の主な研究活動と成果は以下の通りである。

第一に、各地域での聞き取り調査とアンケート調査をとおして、それぞれの地域の中国帰国者の生活実態と、越境にともなう親密圏と公共圏の変容と再編成の実態把握を目指した研究活動である。聞き取り調査は地域のキーパーソンと当事者を中心に行なった。こうした聞き取り調査を通じて、地域における中国帰国者の生活実態と、親密圏と公共圏の変容と再編成の地域間の差異を明らかにするとともに、多様なライフストーリーを聞き取ることができた。また現時点で回収したアンケート票をもって、越境にともなう親密圏と社会的ネットワークの変容、中国帰国者への帰属意識とアイデンティティ問題、日常生活における言語使用状況と困難度、社会参加や地域への愛着感などについて分析を試みている。

第二に、国家賠償訴訟運動時の各地の動きとその後の動きに関する実態調査をとおして、中国帰国者の公共圏の形成に関する解明を試みた研究活動である。2008年以降、国家賠償訴訟運動を通じて形成された中国残留日本人孤児全国原告団の機能が弱体化していく一方、それぞれの地域に根ざした新たな動きが見られる。こうした動きを把握するために、言説分析作業を進める一方、中国帰国者団体と行政との交渉の場、厚生省主催の「中国残留邦人への理解を深めるシンポジウム」や中国帰国者関係の交流会に参加して、参与観察をおこなった。

そして本年度の研究活動成果のアウトプットとして、日中友好協会岡山支部の会報に調査活動を紹介したほか、神戸市主催のシンポジウム「中国残留日本人への理解を深める集い」(10月30日)や、九州中国帰国者支援・交流センター主催の「まなびや」(2月5日)で、当事者そして研究者という立場から捉える中国帰国者問題について講演した。また南京大学社会学院主催の国際ワークショップ「社会を理解する：日中社会学者の対話」(10月28日)で、中国帰国者問題と中国農民工との関連を踏まえつつ報告し、学术交流をおこなった。

【通信欄】

(研究代表者記入)

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 次世代	<input checked="" type="checkbox"/> 次世代ユニット	<input type="checkbox"/> 男女共同参画に資する調査研究
経費	予算額	600 (千円)	実績額 600 (千円)

様式 2

最終成果報告書（ワーキングペーパー）のホームページ公開に関する許諾書

研究成果タイトル

「中国帰国者」の境界文化における親密圏と公共圏の変容と再編成

グローバル COE プログラム「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」に提出する上記の最終研究成果報告書（ワーキングペーパー）の PDF ファイルを同プログラムのホームページに公開することについて、下記のように返答します。

2012 年 月 日

最終研究成果報告書（ワーキングペーパー）

の執筆者全員のお名前（自署捺印）

記

- 許諾する。
- 部分的に許諾する。
許諾する部分を具体的にご記入ください。
- 下記の理由により許諾しない。
 - 調査対象者の個人情報保護のため
 - その他（具体的に理由をご記入ください）